



## おきなわけん 沖縄県はどうしてよく水不足になるの

### 水をたくわえるのが、むずかしいから

あなたは、沖縄に遊びに行ったことがありますか。青い空、白い砂浜、美しいさんごし  
 ょうなどにめぐまれ、毎年、多くの観光客が訪れています。

那覇市(沖縄本島)の1961年から1990年までの年降水量の平均値は、2036.8  
 ミリメートルです。この年降水量は、日本の平均値よりも多いものです。月別の降水量  
 をみると、5, 6, 8月は200ミリメートルをこえています。こんなに雨にめぐまれているのに、なぜ、水不足が起こるのでしょうか。

沖縄本島に限って言えば、本島は南北に細長いため、川は東西方向に流れています。この  
 川は長さが短く、雨が降ったらすぐに海に流れこんでしまいます。

沖縄本島には、全部で9つのダムがありますが、それほど大きいものではありません。  
 つまり、水を大量にたくわえておくという点で、不利な条件がそろっているのです。

### 1994(平成6)年以後には断水はない

沖縄では、これまでに何度も水不足になり、断水が起こりましたが、1994年から19  
 98年にかけては、断水はありません。

これは、雨が適当に降るといふ気象条件にめぐまれたからといえます。

沖縄は、台風の通り道ですから、いろいろ被害を受けますが、台風がもたらす雨は、沖縄  
 にとっては大切な水の供給源なのです。(監修・保岡 孝之)

